



バグダッドLO日々業務報告(12月24日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは、バグダッド及びモスルは、ラマディは
2 特記事項	
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	な し

バグダッド日誌(12月24日)

○「ドッグ アンド ポニー ショウ」!

- の職場訪問当日は、朝から職場の皆で、「何があるのかなあ?」などと話す。米軍以外の職場の各国将校達は初めての経験で、何が起るか全く予想がつかない状況だった。米軍に聞くと「アメリカン・ウェイだよ。とウイック。」その時になれば分かるというらしい。
- 予定の1100になった。事務室(結構広いです。)に情報部の他のオフィスの将兵も集まり、相当な人数となった。全員、リラックスムードで、立ったまま雑談をしている。1105、誰からともなく、「大体、上の人に来る時は遅れ気味だよ。」などと話が始めた。けれども「軍人は何時間でも待つさ。命令だから。」とのことで、これは世界中どこでも一緒のようである。1130。相変わらず皆で雑談。普段は見ない顔もかなりあるので、皆、結構楽しんでいて、中には「キャンセルだよ!」という軍曹もいた。
- 1145遂に、ある兵士が「来たよ!」と飛び込んできた。皆一斉に姿勢を正した。の登場である。今まで米軍新聞、雑誌で兵士を激励、表彰しているところはおなじみであるが、実際に間近で会うのは初めてであり、皆やや緊張して迎えた。司令官は、親しみやすい顔立ちにがっちりした体躯である。開口一番、「楽に聞いてくれ」と皆を休ませた。以下、コメント(要約)
- 今年も1月の選挙、10月の国民投票、12月の選挙と順調にイラクも進展してきた。各地で戦闘が続いてきたが我々は勝利している...。
- ところで、皆、マーシャルプランを知っているよな? 先の第二次世界大戦後ドイツは復興し、経済を発展させた。私( )の方を見ながら、日本も第二次世界大戦後、素晴らしい発展をした。私は軍人だから政治的な話はしないけれども、イラクも日本、ドイツのように発展してほしいと思っている。
- また、多国籍軍として、ヨーロッパの国々、韓国等、復興支援として日本もイラクに来ている。個人的にはこの戦いは短期的なものではないと考えるし、みんな(アメリカ以外の国々)も15年くらいはいて欲しいよな? →米軍兵士の同意の声(冗談??)
- 最後に、情報はいうまでもなく我軍において重要なものである。いくら巡航ミサイル等があっても、情報がなければ戦闘はできない。ここに多数の情報勤務者がいるが、私は人数では評価しない。この多数の将兵が、衛星情報、公開情報、ヒューミント情報等、各分野で分析し、インフォメーションからインテリジェンスにするから、我軍は戦闘できるのである。皆、がんばってくれ。
- その後は、司令官と写真を撮りたい人は、写真を撮ったりした。司令官は男性兵士だとすぐに体を思いきりたたき、「アーユー レディ?」と声をかけていた。期待した米軍将校のバタバタは見られなかった。やはり「アメリカン・ウェイ」だった。